

西川産業(株)日本睡眠科学研究所所長	古川 雅嗣 様
(一社)日本ゴム工業会事務局長	青木 正己 様
ウレタンフォーム工業会専務理事	大川 栄二 様
(株)ロマンス小杉マーケティング部商品部長	小出 登 様 *欠席
(株)ロマンス小杉マーケティング部 MD	竹内 伸一 様
西川リビング(株)法務室長	吉兼 令晴 様 (業種別委員長) *欠席
ニッタ(株)デバイス機能材事業G	越智 信也 様
(一社)日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良 事務局 中村 富夫

JBA 第 4 期業種別委員会：第六回ウレタン・敷部会議事録

1. 開催日時 平成 29 年 10 月 18 日 (木) 10:30 ~ 15:00
2. 開催場所 (株)ロマンス小杉 東京店 4 F & 6 F
東京都中央区日本橋久松町 4 - 6 ☎ 03-3662-3310
3. 議題(1) N I T T A 式 体圧分布測定機の説明試験実施
 - (2) ウレタン・敷類の評価方法について
 - (3) 今後のスケジュール 他

■議事録

議題 (1)

奥谷専務 : 冒頭説明として、家表法改正 ウレタン圧縮試験が B 法 25% から、A 法 40% に変更になった。ベッド用・フローア用途でのウレタン製品 1 枚物、複層品等の物性表記を 2018 年 4 月予定で自主基準として公表していきたい。
体圧分散表記も試験機と方法が各社の思惑で定められておらず標準化したい。

越智様 : マット、敷のウレタン製品以外のものはどうするのか。病院、大学研究機関、ベッドメーカー等との兼ね合いはどうするのか。

大川委員 : まずは、ウレタン製品主体にすすめて、次に他素材へとすすめていく。

奥谷専務 : 製品用途は一般家庭用を主体にすすめ、介護/病院用等はまた別途とする。

青木委員 : 体圧分散数値の特定化が目的で、寝心地感とか学術的研究なことではない。

越智様 : N I T T A 極薄型センサーシート (*米国: テクスチャン社特許) の説明シート最大サイズ hugemat で 884×578mm である。
測定ポイントはいかようにでも可能。1 ポイント 1 c m 角マキシム 200 g で、寝具用は 20K P C で充分と思う。耐久性は垂直荷重で数百万回可能である。当社の体圧分布測定システム clinseat で寝具業界約 20 社、大学他研究機関数百枚供給実績がある。西川リビング(株)吉兼氏にはご協力いただいた。

測定用標準ロボットが必要と思うが、本日は中村モデルで西川産業製レギュラー&ハード、ロマンス小杉製 4 分割と、市販せんべいふとん測定デモ実施。

後日、4パターンデータを各委員宛にメール送付し、試験機の貸出希望があれば、ご提供する。

議題 (2)

大川委員 : 当部会活動報告をウレタンフォーム工業会会議にて報告した。

J I S 試験に基づき試験材3社9種類の物性評価を12月までに試験実施して、硬さとへたり、密度と熱伝導率等の関連性を見てもみる方法もある。

奥谷専務 : やわらかめ、ふつう、硬めの硬さ3表記にした場合の呼称を何とするか。

大川委員 : 複層製品は表層部の硬さ表記でよいと思うが、呼称は今後の検討がよい。

古川部会長 : 寝返り測定法は東洋ゴム特許測定器もあるが、筋電測定法もあり、転がり抵抗値測定などもある。

まずは賛助会員であるボーケン品質評価機構に、そして筋電測定実施のユニチカガ-メンテックにも寝返り測定について聞いてみる必要がある。

文献資料の紹介 (体圧分散、寝姿勢、寝返り)

議題 (3)

古川部会長 : 次回は、アイシン精機六本木ショールームで am10:30 ~アイシン精機デモ、11:30~住友理工デモ。昼食はさんで pm3:00 終了の段取で考えている。

大川委員 : 11月14日第七回会議には、ウレタンフォーム工業会から技術委員1名を参加させる。

奥谷専務 : 11月10日 pm3:00 ボーケン品質評価機構展示会に、ウレタン・敷試験の参考目的で参加しよう。参加確定者: 古川部会長、青木委員、奥谷専務、大川委員は調整次第。欠席者は竹内委員、中村となる。

今後は、各種試験法実施アドバイスの為にボーケン坂井課長には会議出席を委員として願う事にする。

以上